

平成 28 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 高橋春成

最終学歴	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得	
取得学位	博士（文学）	
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、地理科学学会、ヒトと動物の関係学会、野生生物と社会学会、生き物文化誌学会など	
専門分野	生物地理学、文化地理学	
研究課題	人と生き物の歴史・文化的な関係、地域づくりと生き物、棚田や里山などの土地利用	
授業科目	学部担当科目	・地理学講読・調査法
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】	<p>①【学会関係】：日本地理学会より2017年3月に「永年会員功労賞」を受賞した。地理科学学会評議員、ヒトと動物の関係学会評議員、広島史学研究会評議員など。</p> <p>②【審議会委員など】：IUCN（国際自然保護連合）のWild Pigs Specialist Group委員、農林水産省「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」、大阪府シカ・イノシシ保護管理検討会会長、滋賀県イノシシ保護管理検討委員会座長、奈良県自然環境保全審議会委員、奈良県鳥獣部会長、滋賀県守山市文化財保護審議会委員など</p> <p>③【その他】：江戸時代などに造られたイノシシやシカの農業被害対策用の石積みや土盛り（シシ垣）の遺構の保存と活用を目的に「シシ垣ネットワーク」を組織し（シシ垣ネットワーク代表）、毎年各地で「シシ垣サミット」を開催している。</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)		

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ①泳ぐイノシシの時代 ② ③ ④ ⑤	単著	2017年2月	サンライズ出版	全国的なアンケート調査、琵琶湖・瀬戸内海・宇和海・九州や南西諸島周辺などの湖や海を泳ぎ島に渡るイノシシの実態調査などを踏まえ、泳ぐイノシシを生み出す現代という時代の構図、イノシシの泳力とそのようなイノシシへの対応などについてまとめた。
(学術論文) ①シシ垣遺構の保存と活用 ② ③ ④ ⑤	単著	2016年12月	神戸大学大学院人文科学研究科地域連携センター年報	特に沖縄県国頭村奥集落に残るシシ垣遺構を事例として、その保存と活用のありかたについて論じた。
(学会発表) ① ② ③ ④ ⑤				
(その他) ① ② ③ ④ ⑤				